

# KSK湘南ふくしネットワーク

## オンブズマン (新聞)

SNET広報28号

編集責任者：NPO 法人湘南ふくしネットワークオンブズマン 藤本 直也  
事務所：〒253-0043 神奈川県茅ヶ崎元町5-22 永井ビル3階  
電話・FAX：0467-85-6660 直通電話：090-4937-4904 定価30円  
ホームページ：<http://www.npo-snet.com> eメール：[info@npo-snet.com](mailto:info@npo-snet.com)



地域生活における成年後見制度利用の周辺問題への支援状況事前調査

## その人らしく生きる

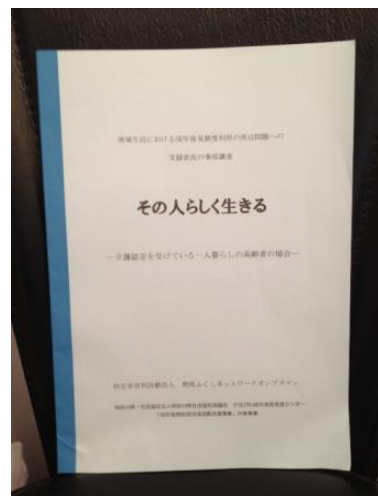
— 介護認定を受けている一人暮らしの高齢者の場合 —  
支援状況の事前調査冊子完成

「この問題はどこに相談したら解決するのだろうか？」

2年前、成年後見支援センターに高齢の一人暮らしの女性の後見制度利用の相談が入りました。

財産の管理能力に大きな問題を抱えながらも、制度利用に対して頑なに拒否される方で、支援に当たっている周囲の支援者も困り果てている状況でした。そこでこの方の自己決定を踏まえて、どこまで支援が可能なのだろうか、あらゆる地域情報を駆使し、見えそうな支援を探すことに苦慮し、「振り回された2年間」でした。

そうしたなかで、今Sネットに求められている「地域生活支援」の課題解決に向けて、ご本人の抱えている問題解決に対する福祉支援の資料の作成が必要であると感じ、1年かけて問題の整理をしてきました。



「後見人が決まったら、毎日の生活がどのように変わるのですか？」

同じ頃、成年後見制度の説明に訪問した居宅介護事業所のケアマネジャーから、こんな質問が出ました。

支援者は日ごろ直面している生活上の問題が、成年後見人が決まることで全て解決できるかのよう思われているのではないかという事は、相談の中でとしばしば感じてきました。一方、後見人を受任したけれど、専門的な知識と情報を持っていないために、被後見人の抱えている問題を解決できず、身上監護が十分に果たされていないという現実にも直面してきました。



### 「ご本人からの具体的なニーズを知ることから始めよう！」

調査に当たっては、主体者であるご本人からの具体的なニーズを掘り起こすことに拘りました。これらのニーズに関係機関、支援者がどのように応えられているかを調査し、支援活動の幅を広げることに関与したいという趣旨でスタートしました。

ニーズの聞き取りについては、茅ヶ崎市の「地域福祉コーディネーター配置事業」を推進している保健福祉部を通じ、市内のモデル地区2箇所の地区社会福祉協議会に依頼し、地域のサロンなどに行きお話を伺いました。又、長年高齢者の活動に携わってきたSネットのオンブズマンからもニーズが寄せられ、成年後見支援センターの相談の中からも、多くのニーズが取り出されました。それらを「日常生活支援」「手続き関連支援」「医療関係支援」「権利擁護」「財産管理」「金銭管理」「死後事務」の7項目177に分類し関係者の皆様に支援状況の記入を依頼しました。

一覧表(例)

D 権利擁護・WISH		茅ヶ崎市				ケアマネ					包括		Sネット		民生委員			ボランティア	
		A	B	C	D	A	B	C	D	E	A	B	メンタ	後見	A	B	C	A	B
11	・行きつけの都心の店まで同行して欲しい	x	x	x	x	x*	x*	x*	x	法	x*	x	x	*	x	x	x		
12	・お金が不足して生活できない	△	○*	○	*	△*	△*	*	△	*	○*		○*	○*	X*	x*	x		
13	・これからの生活がどうなっていくのが心配で相談した	○	○*	○	○	○	△*	○	○	○	○*	○	○*	○	X*	○*	x	○	
14	・自分が判断できなくなったときの財産管理の相談をし	○	○*	○	○	○*	△*	○*	○*	○	○*	○	○*	○	X*	△*	x		
15	・庭に野菜や草花を植えたいのでやって欲しい	x	x	x	x	x*	x*	x*	x	x	x*	x	x	*	x	x*	x	△	
16	・ふるさとを訪問したいので、付き添ってほしい	x	x	x	x	x*	x*	x*	x	x	x*	x	x	*	x	x	x		
17	・いろいろな話を聞いてほしい(傾聴)	△	x	○	○	○*	○*	○*	○	△	○*	○	*	*	X*	○*	○*	○	
18	・身近な人に声を掛けてほしい	△	x	○	○	○*	○*	○*	?		○*	○	*	*		○	○*		
19	・いつまでも今の家に																		
20	・お墓参りに行きたい																		

(ケアマネ) その他 一覧表に寄せられたご意見・コメント等	コメント				
	ケアマネA	ケアマネB	ケアマネC	ケアマネD	ケアマネE
1 全ての支援をコーディネートして余生を充実させることを支えて欲しい		出来る範囲でコーディネートする	できるだけ事はさせていただき満足していただけるようにしたい		全ては無理です
2 安否確認は本人の生活スタイルに合わせてやって欲しい	地域の民生委員と連携してやりたい	なるべく合わせられるように努力する	今後制度も変わるので民生委員さんと一緒にやっていきたいです		家族を巻き込みたいが家族の形勢が崩れ始めている
3 地域での認知症への理解とレッテル貼りの問題	地域包括と連携して地域の理解を得たい	「レッテル」ではなく、病気に対する理解を深める	少しずつ理解していただけるようにこちらからも働きかけていきます		
4 介護サービスは24時間になってほしい	制度説明が必要	24時間対応のサービスがある	在宅サービスは今後又充実していけると思います		そう思います
5 電話対応が困難になっている高齢者の問題点		地域のボランティアを活用し訪問を多くする	直接訪問するしかありません		
6 高齢者はボランティアなどの助けを人に知られたくないと考えている	可能な範囲で要望に対応する	さりげなく訪問し見守りしてゆく	周囲の方への配慮、ご本人の気持ちを大事にします		そうは思いません
7 訪問希望の中身はほとんど2/3が話し相手が良いということ	可能な範囲で要望に対応する	近隣の支え合いを活用する(傾聴ボランティア等)	介護保険では難しいので、それ以外でコーディネートし		
8 相手の方と対等な関係でなければ支援の継続はできない	可能な範囲で要望に対応する	本人の立場に立って支援する	ご本人の立場を尊重します		そう思います
9 説明は丁寧であっても信頼関係のある人とならないと納得しない	可能な範囲で要望に対応する	何度も訪問して信頼関係を築いてゆく	信頼は少しずつ積み重ねてゆくといいですね		そう思います
10 ヘルパーが好みの食事を作る時間と技術がないのが残念	可能な範囲で要望に対応する	本人がヘルパーを教育するという考えもある	ヘルパーの技術の差は時折あるので、事業所と連携して改善していきたい		身体介護の技術向上を望みます

コメント(例)

### 「できること」「できないこと」そして「やらざるを得ないこと」……

支援状況の書き込みでは、茅ヶ崎市と進めてきた市民提案型協働事業の実践から生まれたネットワークが生かされ、茅ヶ崎市の各担当課担当者、上記モデル地区の地域包括支援センター・民生児童委員・居宅介護事業所ケアマネジャー・ボランティア団体代表者に依頼しました。Sネットは成年後見



人担当者・成年後見支援センターが担当しましたが、依頼された方々にとっては実に大変な作業であったと思います。

実際に支援に当たっている支援担当者が「困っている当事者の方を前にしてやらざるを得ないのでやっている」という現実が浮かび上がることで、「やらなければならないが目を背けていた」という支援者に、勇気を持って支援を工夫して欲しいとの願いが調査の中にこめられていました。完成した53ページにわたる一覧表からは、現場の支援の苦労が伝わってくるものとなりました。

Sネットとして、どこも手がつけられていない支援を、どのように組み立てることができるのが今後の大きな課題となるように思われます。(文責：永峯千尋)

なお、この調査研究に関しましては、神奈川県・神奈川県社会福祉協議会 かながわ成年後見推進センターの「成年後見制度地域活動支援事業」の共催事業として実施いたしました。



## Sネットの法人後見

Sネットは現在、補助人2名、任意後見の後見監督人1名を法人として受任し、後見活動をしています。その内訳は高齢の方が2名、障害を持つ方が1名です。(内1件は親族との複数後見です。)

Sネットのスタンスは本人の立場に立ちきることですので、担当者も本人の内なる声を代弁又は支援することを基本的な姿勢としています。

担当者はそれぞれに複数名が関わり、月一回の担当者会議を持ち、その上で全オンブズマンが集まる毎月の会議と理事会で状況を報告し、情報を共有し、いろいろな視点からの意見を出し合って様々な決定をしています。

活動の中で大切にしている事は、本人のWISHを実現できるようにする(自己決定支援)ため、本人の話しをとことん聞こうとし、探り出していくことです。

また、活動の特色は権利擁護の視点を持ったハートとフットワークのある市民が担当すること、法律、福祉、精神保健などの専門の知識を持つオンブズマンによるバックアップ体制があげられます。

実際の活動において、財産管理では法人の複数の担当者でチェックをし、身上監護も重視し、その人に必要な支援を貪欲に探し、その費用を惜しまないようにしています。その人らしい生活を少しでも続けられるような財産の使い方を考え、工夫しています。

また、福祉サービス提供者側との関係性についても本人の権利を主張しつつ、信頼関係を築く努力をしています。



親族や医療関係者との交渉、連携などについてもオンブズマン全員がその状況を共有しています。

今後、法人後見へのニーズは増えて行くと思われませんが、一人ひとりの思いを大切にその人生のお伴をするような後見活動ができればと考えています。

(文責：法人後見担当者、Sネット広報紙から一部抜粋)



## 新オンブズマン紹介!



### 神谷かほる(かみやかほる)

1954年東京生まれ。2011年5月に夫の定年とともに大磯町の自宅に戻ってきました。中高年に入って取得したのですが、現在、ヘルパー2級、社会福祉士、精神保健福祉士の資格を持って精神障害者福祉施設で働いています。

私には統合失調症の兄と認知症の母親がいます。おかげでかれこれ17年位、精神保健福祉と深く関わってきました。中でも印象に残るNPO活動は、2002~3年にかけて行った新潟県内の精神科病院訪問調査です。その時に感じたことは、障害をもつ本人が快適な治療生活を送るには施設環境の改善と職員の質の向上が欠かせないことです。Sネットのオンブズマン活動では当時の体験を想起し、この活動が生半可な気持ちではできないことをあらためて認識させられました。障害者本人と家族のみならず市民が地域で安心して暮らすためにSネットの活動は大いに期待されます。微力ではございますが少しでもお手伝いできれば幸いです。

### 田中典子(たなかのりこ)

今年度より、成年後見支援センターの相談支援員として、また、Sネットで法人後見の担当者およびオンブズマンとして活動に参加させて頂いております。

私は、もし、自分がその人の立場であるならば、どのような思いであろうかということを常に自問しつつ、その人が、愛するこの湘南の地域で、安心して『その人らしく生きる』ことが続けられるように、ぜひ、お役人立ちたいと願っております。

デビューしてまだ1ヶ月ですが、現場ではそれぞれの需要の多さを痛感、東奔西走の毎日です。

どうぞ、湘南のみなさま、宜しくお願い申し上げます。

### 松橋武美(まつはしたけみ)

この度、団塊世代の1人としてオンブズマンの仲間入りをさせて頂きました、神奈川県社会福祉士会湘南東支部の一員として、活動してきたのですが、支部長の紹介で当会員になる事が出来ました、永年のサラリーマン生活にピリオドを打ち福祉の世界に入って10年目になりました、現在は自立型の福祉施設を含め5か所のケアセンター長として忙しい日々を送っていますが、少しでも湘南地区で暮らす相談者の人の悩み又将来について一緒に考え良い方向に行けるよう微力ですが、頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。



## 賛助会員入会のお願い

私たちは、ノーマライゼーション社会の実現を目指し、権利擁護活動を行っています。賛助会員としてご入会いただき、私たちの活動をご支援くださいますようお願い申し上げます。

- ◇賛助会員会費 ・個人 年額 ー□ 1,000円 (ー□以上)
- ・法人 年額 ー□ 5,000円 (ー□以上)
- ◇ご入会の方法：郵便振替書により下記口座へ会費をお振込みください
- 郵便振替口座番号：00210-9-75496
- 口座名義人：NPO法人 Sネットオンブズマン

